

阿仁川漁協分 カワウ対策状況報告書

三澤 直人

九嶋 貴文

期	許可期間	捕獲数	捕獲場所
1	7/14~8/12	22	上杉1号池、2号池
2	8/13~9/11	3	上杉1号池、2号池
3	9/19~10/18	6	上杉1号池、阿仁川
4	10/19~11/14	0	

計 31

許可期間ごとに阿仁川漁協へ請求書、許可証（報告書写し）、くちばし、写真を提出

〈1期〉 7/14~8/12

上杉地区御狩屋跡1~4号ため池（以下、1~4号池）の1号池コロニー駆除（サクラマス協議会）からの継続。

鮎シーズンということもあり多方面からの群れも合流し、ねぐらには200羽以上確認。

7/27の大館地区散弾銃での駆除・追い払い（サクラマス協議会）の影響なのか、夕方ねぐらに飛来する数も増加し400~500羽ほど。

〈2期〉 8/13~9/11

ねぐらは1号池か2号池のどちらかになり数団体が夕方に時間差で飛来。駆除を警戒してか？遠距離からの帰還なのか？日没間際から日没後に飛来する傾向がある。

〈3期〉 9/19~10/18

今回から阿仁川漁協管轄流域も許可エリアに追加。阿仁川と小阿仁川をあわせて巡回。小阿仁川が濁り増水等でカワウの群れは阿仁川本流に集中している様子。特に木戸石橋から本城頭首工の区間での目撃が多く、100羽ほどの群れが確認された。

2ヵ所に駆除ポイントを設け立て看板と目隠しのネットを設営。

10/12には県自然保護課と水産振興センターの計4名と同行。同日カワウは確認できず、阿仁川で単独1羽ウミウのみ確認。調査用に冷凍保存の3羽を提供する。

このころから夕方数回偵察したが、池のねぐらには戻ってきていない様子。

カワウの補食エリアは下流部下田平地区に移動、特に米代川本流合流点で大きな群れを確認。

〈4期〉 10/19～11/14

出動日に川が増水のため捕獲作業が困難な日が多く、駆除できずに期間終了となる。

【要望・提案】

河川での駆除については時期的に早めの対策が好ましいと考える。特に強いプレッシャーを与えるのであれば子育てが盛んな6月ころに河川も許可エリアの対象として巡視と駆除を行い、阿仁川流域におけるカワウの行動を把握しながら対策することが重要になるため来年駆除の際は早期の許可申請をお願いしたい。

